

# 慈恵脳神経内科 専攻医プログラム概要 (2023年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>1年目</b>	<b>本院</b>						<b>分院(場所は任意)</b>					
	内科1 (希望する科)		内科2 (希望する科)		内科3 (希望する科)		内科4 (希望する科)		内科5 (希望する科)		内科6 (希望する科)	
<b>2年目</b>	<b>本院</b>				<b>本院か分院</b>		<b>本院</b>					
	脳神経内科での専門研修				救急* (2~3ヶ月、時期は概ね希望通り)		脳神経内科での専門研修					
<b>3年目</b>	<b>国内留学</b>											
	専門施設・地域中核病院など指導体制が整っている かつ 慈恵脳神経内科と連携している病院											

当科は関連病院ではなく、本人が希望する病院での国内留学が可能です

## 国内留学

- ✓ J-OSLERシステムにより、連携している病院に留学する
- ✓ 各レジデントの希望を尊重し、キャリアプランに沿った留学先を検討

### 主な連携先病院

- ・ 国立循環器病研究センター（大阪）
- ・ 東京都健康長寿医療センター（東京）
- ・ 浜松リハビリテーション病院（愛知）
- ・ 杏林大学（東京） ・ 群馬大学（群馬）
- ・ 東北医科薬科医科大学（宮城）
- ・ 国立精神神経研究センター（東京）
- ・ 東京都立神経病院（東京）
- ・ 聖路加病院（東京）
- ・ 横浜労災病院（神奈川）
- ・ 大田記念病院（広島）
- ・ 虎の門病院（東京）
- ・ 亀田総合病院（千葉）
- ・ 横浜市立市民病院（神奈川）

など

注)この他にも事前に連携を組むことで、希望する施設への国内留学が可能



# 各先生のキャリアパス その1

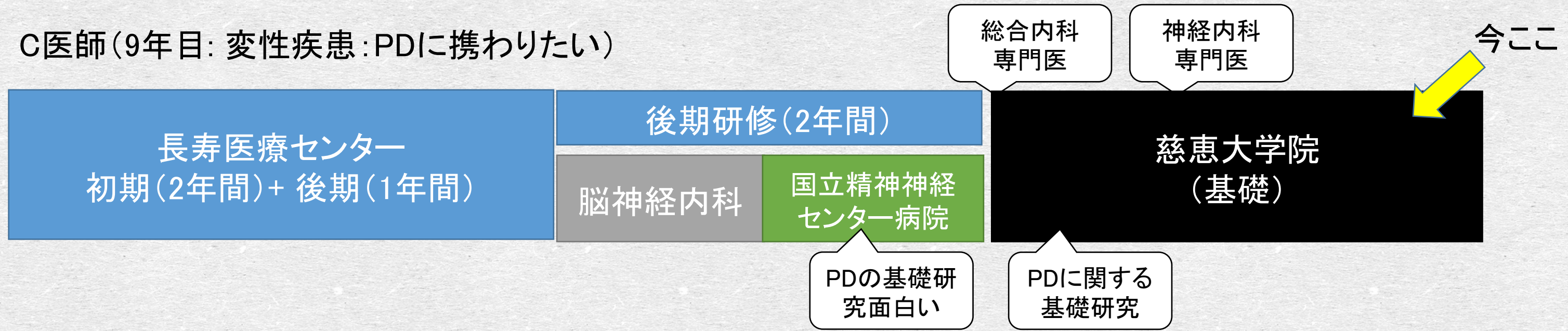
A医師(13年目: ALSの基礎研究にいつか携わりたい)



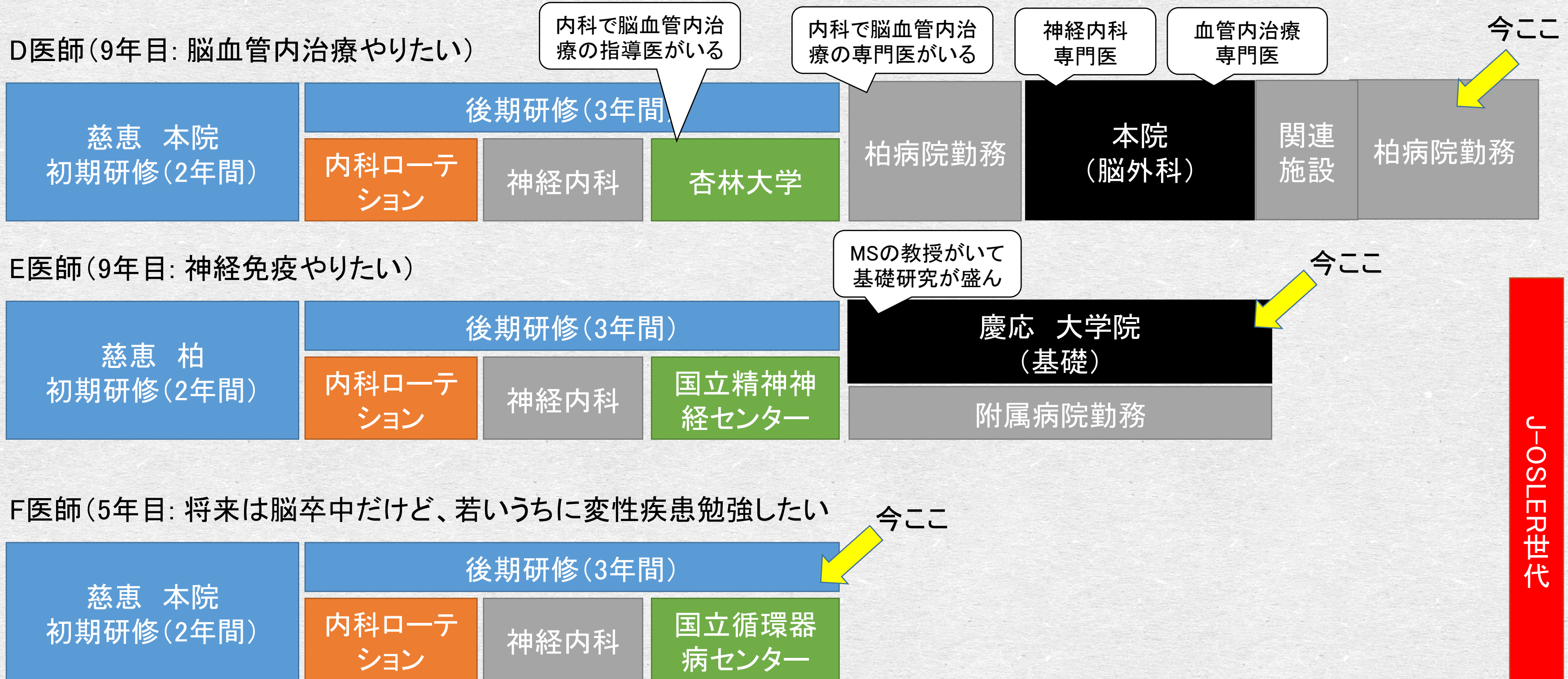
B医師(11年目: 脳卒中の臨床研究をやりたい)



C医師(9年目: 変性疾患:PDに携わりたい)



# 各先生のキャリアパス その2





## レジデントが終わったら？ → 専門家の道へ



- ✓ レジデント5年目までは、J-OSLER（内科専門医取得のために必要なもの）システムに組み込まれるため、研修の内容に差が出にくい
- ✓ 医局選びはむしろ、6年目以降のキャリアに関わってくる
- ✓ 専門医取得だけでなく、6年目以降に脳神経内科内での主体性・専門性をもって自主的に臨床・研究・教育できる人材を育成する



# 慈恵脳神経内科 診療体制（例 2023年度4月梅原チーム）



梅原先生

- ・ 19年目
- ・ 外来は2.5枠／週
- ・ 入院主治医として大まかな方針を決定



佐藤先生

- ・ 15年目
- ・ 外来は2枠／週
- ・ 若手医師の指導



三森先生

- ・ 6年目
- ・ 外来は0.5枠／週
- ・ 入院患者の実務担当

他、  
レジ 1名  
初期研修医 1名

三森先生と共に実務担当

- ・ 1日2回 朝夕とチームで回診／ミーティングを行う
- ・ 救急患者に関しては当番制で若手医師と上級医がセットで対応する
- ・ 現在3チームで、各チーム7-9名を担当する

## 後期研修2年目先生の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	教授回診	外勤				救急当番	休日
午後	神経伝導検査	外勤	救急当番	初診外来	救急当番	自己学習	

- 後期研修医は主に病棟で臨床を学ぶ
- 初診外来を1コマ担当する
- 外勤は週に1日
- 慈恵医大は土曜日にも勤務があるが、脳神経内科としては午後は自己学習時間
- 当直は原則月に4回（平日3回、日・祝日1回）



## 後期研修で慈恵脳神経内科に入局するには？

---

定員：なし

採用基準：希望者全員, 採用基準や採用試験はなし！

「入局します！」と決めたら、まず連絡ください！！

必要手続き：慈恵専門医習得コースに応募する必要あり

一緒に手続きしていきますので、まずはご連絡を